

白い巨塔 (1966)

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1966/10/15

【解説】

山崎豊子の同名小説を、橋本忍が脚色し山本薩夫が監督。主役の田宮二郎はこの作品で人気を得、後にテレビシリーズでも同じ役を演じた。原作が完結する前に制作が開始されたため、ラストは映画オリジナルとなっている。浪速大学医学部の東教授が来年退官となるため、そのポスト争いが水面下で激化していた。東の教え子である財前五郎は最有力候補と言われていたが、傲慢な態度ゆえ東教授に疎まれており、様々な工作を進めていた。ある日、同期の里見から頼まれ、財前は胃癌患者の手術を執刀する。術後に患者は苦しむが、選挙戦に忙しい財前はその原因を探ろうとせず、患者は間もなく亡くなってしまふ。財前は選挙戦を勝ち抜き晴れて教授となるが、そんな矢先、死亡した患者の遺族が財前と病院を相手取り、医療訴訟を起こした。

【クレジット】

監督 山本薩夫

製作 永田雅一 [製作]

原作 山崎豊子

脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto

撮影 宗川信夫

美術 間野重雄

音楽 池野成

出演 田宮二郎

小川真由美

東野英治郎

滝沢修

船越英二

田村高廣 Takahiro Tamura

石山健二郎

小沢栄太郎

藤村志保

長谷川待子

岸輝子

加藤嘉

永田靖

加藤武

下條正巳

鈴木瑞穂

須賀不二男

清水将夫

高原駿雄

早川雄三

北原義郎

潮万太郎

滝花久子